

令和元年度

事業報告書

平成31年4月 1日から

令和2年3月31日まで

公益財団法人沖縄県学校給食会

令和元年度事業報告

<管理部門>

I 組織（令和2年3月31日現在）

役員、評議員、職員および各種委員会

1 役員等

評議員	理 事	監 事
10	7	2

2 職員（ ）内数値は嘱託・非常勤人数

事務局長	総務課	物資課	業務課	食品検査 食育支援室	委託職員
1	4	9（1）	3（1）	1（3）	運転手 11 作業員 6

3 各種委員会

物資委員会	パン品質調査会	物資流通情報 モニター
26	12	7

4 役員等に関する事項（令和2年3月31日現在）

（1）評議員 定数：8名以上12名以内 現在数：10名 任期：4年

役職名	氏 名	所属名 職名
評議員	又吉 元晃	浦添市立沢岨小学校 教頭
評議員	宜保 律子	沖縄県学校栄養士会 会長
評議員	伊禮 弘匡	那覇市教育委員会学校給食課 課長
評議員	松本嘉代子	（有）松本料理学院 学院長
評議員	今井 朗	（一社）沖縄県PTA連合会
評議員	中野吉三郎	（元）沖縄県学校給食会 理事長
評議員	瑞慶覧長行	（元）沖縄県学校給食会 理事長
評議員	比嘉 健一	沖縄市立学校給食センター 所長
評議員	新里 健	与那原町役場学校教育課 課長
評議員	名幸 哲	沖縄県教育庁保健体育課学校安全・給食班 班長

令和元年度事業報告

(2) 理事 定数：6名以上9名以内 現在数：7名 任期：2年

役職名	氏名	所属名 職名
理事	太田 守克	沖縄県教育庁保健体育課 課長
理事	當山 忠男	那覇市立城南小学校 校長
理事	島崎 朋広	(一社) 沖縄県 PTA 連合会 副会長
理事	盛根 敦	南城市学校給食センター 所長
理事	久高 成次	J A おきなわ農業事業本部 部長
理事	屋嘉比 守	公益財団法人沖縄県学校給食会 理事長
理事	新垣 悦男	公益財団法人沖縄県学校給食会 常務理事

(3) 監事 定数：2名以内 現在数：2名 任期：2年

役職名	氏名	所属名 職名
監事	東 健策	(一社) 沖縄県 P T A 連合会 事務局長
監事	與那覇正人	沖縄県立那覇商業高等学校 校長

(4) 役員等及び職員の変動

役職名	氏名	異動年月日	摘要
理事	平良 朝治	令和元年6月26日	任期満了
理事	太田 守克	令和元年6月26日	就任
理事	中沼 豊	令和元年6月26日	任期満了
理事	島崎 朋広	令和元年6月26日	就任
理事	伊波 良治	令和元年6月26日	任期満了
理事	盛根 敦	令和元年6月26日	就任
理事	久高 成次	令和元年6月26日	重任
理事	當山 忠男	令和元年6月26日	重任
理事	屋嘉比 守	令和元年6月26日	重任
理事長	屋嘉比 守	令和元年6月27日	選定
理事	新垣 悦男	令和元年6月26日	重任
常務理事	新垣 悦男	令和元年6月27日	選定
監事	濱元 朝純	令和元年6月26日	任期満了
監事	東 健策	令和元年6月26日	就任
監事	川根 茂森	令和元年6月26日	任期満了
監事	與那覇正人	令和元年6月26日	就任
職員・事務局長	澤岨 寛稔	令和2年3月31日	定年
職員	安里 恵子	令和2年3月31日	定年

令和元年度事業報告

II 会議

1 理事会

第1回通常理事会：令和元年6月7日

第1号議案 平成30年度事業報告・計算書の承認

第2号議案 定時評議員会の招集の決定

第3号議案 公益財団法人沖縄県学校給食会職員の表彰について

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

第1回臨時理事会：令和元年6月27日

第1号議案 代表理事（理事長）の選定について

第2号議案 業務執行理事（常務理事）の選定について

第2回通常理事会：令和2年3月11日

第1号議案 令和2年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

第2号議案 臨時評議員会の招集の決定

第3号議案 公益財団法人沖縄県学校給食会事務局組織規程の一部を改正する規定

第4号議案 公益財団法人沖縄県学校給食会事務局人事について

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

2 評議員会

定時評議員会：令和元年6月26日

報告事項 平成30年度事業報告

第1号議案 平成30年度決算報告書の承認

第2号議案 理事7名選任

第3号議案 監事2名選任

その他 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

第1回臨時評議員会：令和2年3月25日

報告事項 令和2年度事業計画及び収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて

その他 代表理事・業務執行理事の職務執行状況の報告

3 監事会：令和元年5月30日

平成30年度理事の職務執行の監査

平成30年度事業報告及び決算内容監査

令和元年度事業報告

Ⅲ その他

- 1 HACCPの手法を取り入れた、本会「取扱物資の安全確保に関する衛生管理マニュアル」に沿った物資の管理を実施し、取扱物資の安全性を確保した。
- 2 委託選定業者については令和元年12月末で、伊江島の伊江製パンがパンの製造から撤退、伊江村内の学校へは本島の工場で製造したパンを本会が港まで輸送し供給している。米飯の供給は引き続き伊江製パンが行っている。また八重山地区の乳業メーカーの八重山ゲンキ乳業が令和2年3月いっぱい学校給食の牛乳の供給を辞退。同じ八重山地区のマリヤ乳業が供給を引き継ぐ予定。
- 3 公益財団法人沖縄県学校給食会新販売管理システム導入が昨年8月に本格稼働。
- 4 コロナウイルス蔓延対策のため令和2年3月2日から国により全国の学校に臨時休校が要請された。沖縄県においても八重山地区および近海離島等の一部を除く小中学校、高等学校が1週間から2週間程度の臨時休校となった。学校給食も中止となり県内の零細な委託加工業者の経営等が危惧されたが、国による学校臨時休業対策費補助金が新設されその補助金にて損失を補償できる見込みとなり経営が逼迫する事態は避けられた。また、この学校臨時休業対策費補助金の各都道府県の窓口を各都道府県学校給食会が担当することが決まった。

<事業活動>

I 学校給食支援事業（公益目的事業1）

1 学校給食用物資の安定供給に関する事業

（1）取扱物資の計画的確保と安定供給

○学校数及び給食人数

区分	ミルク給食	完全給食				
	幼稚園	幼稚園	小学校	中学校	高校定時	合計
校数	89	108	267	154	7	536
人数	5,194	5,927	103,593	53,291	2,266	165,077

○給食用物資供給先

	共同調理場数	単独調理場数	計
元年度	71	59	130

○取扱物資数

区 分		品 数	主な商品
一般物資	常温物資	265	県産パンの缶詰、醤油、黒糖、乾物他
	冷凍物資	278	かぼちゃ、ほうれん草、県産もずく他
基本物資		29	牛乳、精米、米飯、脱脂粉乳他

○物資別供給金額

物資名	令和元年度	平成30年度	増減額
一般物資	1,270,934,749 円	1,298,918,148 円	▲27,983,399 円
基本物資	3,201,755,409 円	3,248,957,952 円	▲47,202,543 円
計	4,472,690,158 円	4,547,876,100 円	▲75,185,942 円

○基本物資別使用量

物資名	区 分	令和元年度	平成30年度	増 減
小麦粉	パン給食用	242,366 kg	247,578 kg	▲5,212 kg
	麺 用	42,875 kg	44,125 kg	▲1,250 kg
	副食用	6,325 kg	8,175 kg	▲1,850 kg
	小 計	276,716 kg	299,878 kg	▲23,162 kg
脱脂粉乳	パン用その他	10,286 kg	10,547 kg	▲261 kg

令和元年度事業報告

米 穀	米穀用(精米)	1,592,135 kg	1,650,517 kg	▲58,382 kg
パン副原料	砂糖他	36,063 kg	35,707 kg	356 kg
牛 乳	県産生乳等	29,944,644 個	32,394,272 個	▲2,449,628 個

○冷凍食品合同選定会（九州8県）

冷凍食品合同選定会は年3回開催。本年度は5月16日に第2学期取扱分、9月20日に第3学期取扱分、12月12日に第1学期取扱分の選定を行うため、市町村給食関係代表者、栄養教諭、栄養職員が参加した。19品目を九州全ての県で取り扱う共通選定物資として選定。本会は1,042,945食を供給した。

○中国・九州地区共同購入会議

中国・九州地区共同購入会議は年4回開催。本年度は7月23日、10月18日、12月5日～6日、令和2年2月18日～19日に本会物資課職員が参加した。選定された物資455t、48品目を計画的に確保した。

（2）教育の機会均等

○本会が取り扱う物資は離島含めた県内すべてのセンター、共同調理場、学校等へ供給。商品の送料負担はなく、全県地域に同一商品を同一価格で供給している。

（3）基本物資（パン・米飯・麺・牛乳）供給工場

区 分	北部	中部	那覇	南部	宮古	八重山	合計
パン及び米飯	－（1）	4（4）	2（2）	3（3）	1（1）	－（－）	10（11）
パンのみ	1（1）	－（－）	－（－）	－（－）	1（1）	1（1）	3（3）
米飯のみ	1（－）	－（－）	－（－）	－（－）	1（1）	1（1）	3（2）
麺	1（1）	1（1）	－（－）	－（－）	1（1）	2（2）	5（5）
牛乳	－（－）	1（1）	1（1）	1（1）	1（0）	2（2）	6（5）
計	3（3）	6（6）	3（3）	4（4）	5（4）	6（6）	27（26）

※（ ）内数字は前年度の工場数。

○経営規模が零細な加工委託工場に対し、適正な品質を堅持するため本会が設備・備品などを無償貸し付等で支援。本年度実績は1件、助成額99,792円。

（4）適正価格での供給

○共同購入した実績は、7月会議（11品、55t）、10月会議（9品、74t）、12月会議（14品、117t）、2月会議（27品、209t）、合計61品、455tであった。

令和元年度事業報告

○保護者負担軽減の観点から令和元年度は下記のとおり助成した。

区 分	令和元年度	平成 30 年度	増 減
米 飯	24,715,623 円	25,357,270 円	▲641,647 円
精 米	7,506,865 円	8,258,819 円	▲751,954 円
計	32,222,488 円	33,616,089 円	▲1,393,601 円

* 助成単価は米飯、精米とも 10 kg 当たり 204.96 円で実施。

○物資流通情報モニター委員 7 名に学校給食会以外の問屋から令和元年の間に購入した商品を記入してもらい、品質に対して仕入値が適正であるかの判断の材料とした。

○一般市場の販売価格動向については本会営業担当者にて令和 2 年 2 月から 3 月までの期間において量販店、業務用スーパー等の動向調査を実施した。本会の取扱う商品は一般市場の販売価格を 100 とすると 88.6%の安価な価格で供給できているとの調査結果であった。

(5) 公正な物資選定

○物資委員会は年 3 回開催。本年度は 6 月 14 日に第 2 学期取扱分、10 月 30 日に第 3 学期取扱分、令和 2 年 2 月 14 日に第 1 学期取扱分の選定を行うため、学校給食実施校代表、県教育委員会、県環境保健部、衛生機関、市町村給食関係代表者、栄養教諭、栄養職員、学識経験者、PTA 代表等が出席、開催した。第 1 回物資委員会（3 品）、第 2 回物資委員会（3 品）、第 3 回物資委員会（3 品）を持ち帰り品及び給食会推奨品として選定、確保した。また選定期間中の使用食数は合計 187,772 食、金額合計は 8,695,088 円であった。

2 学校給食物資の安全性確保及び衛生管理に関する事業

(1) 取扱物資の安全性確保

ア. 基本物資

○米穀の DNA 鑑定、残留農薬検査・カドミウム検査を日本穀物検定協会へ 14 回依頼実施し、検定料 346,620 円となった。

○小麦粉の検定を日本穀物検定協会へ 12 回依頼実施し、検定料 203,346 円となった。

イ. パン・麺・牛乳

○パン品質調査会は 6 月 28 日、9 月 24 日に開催し、県内の栄養教諭、栄養職員が参加した。参加者は外部講師の指導のもとパン委託加工業者のパン品質判定を行い、その結果は広報誌、ホームページで情報を開示した。なお 3 学期の開催はコロナウ

令和元年度事業報告

ウイルス蔓延防止のため中止となった。

○パンの水分測定、細菌検査（抜取検査）を6月26日、令和2年2月26日に計40検体実施した。

○牛乳抜き取り検査は、7月10日、12月11日に計12検体実施した。

○麺の細菌検査（抜取検査）を6月12～25日、9月17～18日、令和2年1月21～29日に計45検体実施した。

ウ. 一般物資

○中国九州地区共同購入物資の農薬検査及び放射能検査を一般財団法人日本冷凍食品検査協会に依頼。検定料は863,044円であった。

○九州地区冷凍食品共通選定品（第1学期分、第2学期分、第3学期分）の農薬検査及び放射能検査を一般財団法人日本冷凍食品検査協会に依頼。検定料は130,235円であった。

○本会検査室で行う自主検査（細菌検査）は710検体を検査した。

○放射能検査（外部委託）は19検体を検査し、検定料168,600円であった。

○平成29年度より2年毎の残留農薬検査（外部検査）を開始。本年度は20検体を検査し、検定料1,430,000円であった。

エ. 緊急時の危機管理と保険

○本会では食中毒などの緊急時に対応するため「学校給食会物資取扱危機管理マニュアル」に沿った対応が出来るよう、事務所内に掲示し、職員で読み合わせ等実施した。また、万が一の事故に備えて「食品営業賠償共済保険」（対人賠償1人1億円、1事故10億円）に加入した。

オ. 取扱物資の情報と検査結果の開示

○本会が取り扱う物資は商品名、包装規格、価格、栄養成分、アレルギー表示、商品説明を記載した「2019年度取扱物資案内書」を作成し、離島含めた県内すべてのセンター、共同調理場、学校等へ配布した。

○本会検査室で実施した検査内容及び検体数等は下記のとおり。またその結果については、広報誌等で情報を開示した。

令和元年度事業報告

項 目	内 容	
細菌検査	一般物資（取扱物資）	652 検体
	選定物資（行事食サンプル含む）	58 検体
	基本物資（ミルク）	12 検体
	基本物資（パン）	40 検体
	基本物資（めん）	45 検体
理化学検査	ミルク成分規格試験、V B N	57 検体
事故品検索	基本物資	24 件
	一般物資	122 件
調理場からの依頼	事故品・混入異物等の調査	68 件
	自主検査のための検査室開放	0 件
委託工場の衛生指導	工場調査および衛生指導	14 件
	自主検査のための検査室開放	0 件

（２）学校給食用物資の衛生管理事業

ア．加工委託選定工場

○検査室において、重点調査 3 件、巡回調査 11 件を実施した。立ち入り調査はなし。
また、検査室は年間を通して開放している。

○7 月 31 日に開催された沖縄県学校給食パン協同組合主催の「令和元年度衛生講習会」が沖縄県総合福祉センターで開催された。参加人数約 80 名に対し、本会業務課職員が衛生管理向上に努めるよう注意喚起した。

○本年度の衛生管理ポスター作成は無し。

○本年度の検査器具の貸与は 0 件。

イ．一般物資関係工場

○計画的に工場視察を行い不適切な部分については改善指導を実施。本年度は県外 5 社の工場を視察した。

○検査室において改善指導の実施は無し。

○検査室において立ち入り調査、衛生点検及び一般物資関係工場の検査室利用の実績は無し。

令和元年度事業報告

ウ. その他

- 全職員毎月1回の検便及び年1回の健康診断を実施した。その検便結果を18センターへ報告した。選定工場に対しても同様な検便と健康診断の実施を指導した。
- 全職員および委託職員を含め10月から1月の間にノロウイルス検査を実施した。
- 全職員のインフルエンザ予防接種費用の半額助成を実施した。

3 学校給食の普及充実及び食育推進の支援に関する事業

(1) 学校給食の普及充実事業

ア. 各種研修・講習会等の事業

- 「新規採用学校栄養職員研修会」（主催：県立総合教育センター）が6月6～7日、本会会議室にて開催。新規採用職員3名に対し、本会職員が、「給食物資管理に関すること」、「衛生管理の実際～細菌検査を通して～」、「衛生管理の実際～結果の活用～」の講師を務めた。
- 栄養教諭・学校栄養職員を対象として食の指導など資質向上のため講師を招聘して「栄養教諭・学校栄養職員講演会」（主催）を5月17日に本会大会議室で開催。参加者約120名、武庫川女子大学 文学部教育学科専任講師 藤本勇二氏による「主体的・対話的で深い学びを作る食の授業」の講演があった。
- 栄養教諭・学校栄養職員を対象として調理技術・資質の向上を図るとともに、学校現場における指導に役立てるため「学校給食調理講習会及び研修会」（共催）を7月31日、本会調理室・大会議室にて開催した。参加者約60名、調理講師に琉球料理伝承人 稲垣夏子氏、玉城恵子氏、名城志野氏、底田春奈氏、上野聖子氏による「基本の琉球料理と庶民のお菓子について」の実演と、研修会講師に薬膳琉花 宮國由起江氏による「琉球料理はヌチグスイ」について講話がなされた。
- 学校給食調理従事者の調理技術の研鑽と意欲の向上に資するため「地場産物を活用した学校給食献立発表会」（主催）を7月30日、本会調理室・大会議室にて開催。1チーム3名で9チームの計27名が、地元の食材を使用した献立の調理、発表を行った。審査の結果、最優秀賞、審査員特別賞、優秀賞2チーム、計4チームが受賞となる。
- 沖縄県高等学校PTA連合会と共催し、保護者・生徒・教職員を対象に学校給食を通して食の知識を深めるための「PTA食育研修会」は主催者側都合により中止となった。

令和元年度事業報告

○県教育委員会が主体に「第 19 回沖縄県健康教育研究大会」（主催）令和 2 年 2 月 7 日に読谷村文化センター鳳ホールで開催した。特別講演に琉球フットボールクラブ株式会社代表取締役社長 三上昂氏による「F C 琉球の軌跡 サッカークラブを超えた存在に」の演題で講演した。分科会は 3 部会で発表が行われた。

イ. 衛生管理支援事業

○県教育委員会と共催し学校給食調理場所長、栄養教諭等、調理従事者を対象に「衛生管理（細菌検査）実技講習会」（主催）を 5 月 13 日、14 日に本会会議室にて開催した。本年度は那覇・島尻地区対象の 12 調理場 32 名が参加。初日は本会検査室係長による細菌検査実技指導、沖縄県環境科学センター検査技師による「学校給食における衛生管理及びノロウイルス対策について」の講義、二日目は細菌検査結果の発表等が行われた。

○栄養教諭等への検査器具の無償貸与及び検査室の開放を行う「学校栄養教諭等衛生管理支援事業」及び各調理場等における食材、食器具等の細菌検査残留試験を行う「学校給食調理場衛生管理支援事業」を通年で実施。学校栄養教諭等衛生管理支援事業の実績は検査器具貸出 26 件。内訳は手洗いチェッカー 12 件、ATP 測定器 11 件、簡易ふ卵器 3 件。学校給食調理場衛生管理支援事業は実績なし。

○本年度の学校給食調理場における異物混入等の調査依頼は 68 件、自主検査のための検査室開放は 0 件であった。

○県教育委員会と共催し「県立学校給食調理及び衛生管理講習会」が 7 月 26 日に本会調理室・大会議室で開催された。参加者 92 名、調理講師に一般財団法人トータルウエルネスプロジェクトオキナワ 伊是名カエ氏による「琉球料理の基本」、衛生管理講師に沖縄県環境科学センター主任技師による「学校給食における衛生管理について～調理場巡回指導の報告と施設設備等の衛生管理～」、県教育庁保健体育課指導主事による「学校給食の衛生管理・危機管理」の講習がなされた。

ウ. 広報活動

○広報誌「うちなー」は第 105 号（1,000 部）を 7 月、第 106 号（1,000 部）を 11 月、第 107 号（1,000 部）を令和 2 年 1 月に発行した。

○本会の業務内容等の情報提供をホームページで随時更新した。

○本年度においても学校給食に関するリーフレット、パンフレット等を無償配布した。又パネル等は学校等関係先へ随時無償貸出を実施した。

令和元年度事業報告

○本年度のリーフレット、パンフレットの印刷実績は「学校給食だーいすき」、「はしちゃんと使えるかな?」、「よい食事」を各1,000部。

○パネルの貸出実績は19件。

○令和2年1月29日に沖縄県教育委員会と共催し、学校給食の一層の充実発展を図るため、那覇市立石嶺小学校の給食週間における取り組みを視察した。実施内容は、①学校長による取り組みの説明 ②児童生徒との給食の会食。視察を通して情報交換等を行った。

エ. 図書資料等の貸出

○本年度の専門書籍貸出13件、紙芝居1件、ビデオ等貸出1件であった。

オ. 関係団体への助成

○本年度の助成額は1,800千円であった。

団 体 名	助成額
沖縄県学校栄養士会	650,000円
沖縄県学校給食研究協議会	150,000円
沖縄県高等学校給食研究協議会	100,000円
特別支援学校給食研究会	150,000円
共同調理場連絡協議会	150,000円
県教育委員会学校給食研究指定校（具志川小学校）	90,000円
食習慣改善実践事業（県学校給食研究協議会指定研究校） ①古堅小②具志川小③八重山特別支援④コザ高校	360,000円
沖縄県健康教育大会負担金	150,000円

カ. 本会施設の開放

○本会の調理室及び会議室等を学校給食関係者及び学校教育関係団体等へ無償貸出を行い、利用実績は131回であった。

	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月	計
会議室	32回	40回	16回	15回	103回
調理室	9回	17回	2回	0回	28回
図書室	0回	0回	0回	0回	0回
計	41回	57回	18回	15回	131回

令和元年度事業報告

(2) 食育推進の支援事業

ア. シンポジウム、研修・講習会の開催

○沖縄県教育委員会、沖縄県 PTA 連合会、沖縄県学校栄養士会、沖縄県学校給食研究協議会と共催し「食育シンポジウム」を、「生涯にわたって心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ食育の推進」～うりひゃー・でーじなとん！できることから始めよう～をテーマに掲げ、8月10日に南風原町中央公民館 黄金ホールで開催。基調講演は、管理栄養士の河谷彰子先生の「トップアスリートに学ぶ 子どもから大人の生活習慣～お父さんのお腹も凹む食習慣～」、シンポジウムでは、医師、栄養士、保護者、中学校教諭より発表が行われ、来場者数は約 200 名であった。

○沖縄県学校栄養士会と共催し「食と子どもの健康展」を7月8日にイオン具志川店、7月13日にイオン名護店、イオンタウン南城大里にて開催した。各ブースでは学校給食の行事食など写真や実物付きで展示し、来場者に学校給食の理解と食育の重要性をアピールした。来場者数は、イオン具志川店では約 1,000 名、イオン名護店では約 270 名、イオンタウン南城大里では約 650 名であった。

○「学校栄養士による家庭・地域と連携した食育実践講座」は本島4地区の国頭、中頭、那覇、島尻と、宮古、八重山及び特別支援学校で計 10 回開催。対象者は各地区の児童生徒と保護者で、参加延人数 250 名であった。

開催地区	開催日	開催場所	テーマ	参加人数
国頭	11月14日(木)	瀬喜田小学校	昔から伝わる沖縄のお菓子 ～お世話になった人へ感謝の気持ちを伝えよう～	10名
中頭	11月30日(土)	古堅小学校	「親子で楽しくお弁当作り」	33名
	12月7日(土)	具志川小学校	「お父さんと作ろう！簡単朝ごはん」	33名
那覇	8月8日(木)	学校給食会	「自分でつくろう！めざせピカピカ和食マスター」	48名
	8月9日(金)	小禄南公民館	「自分でつくろう！めざせピカピカ和食マスター」	30名
	12月15日(日)	南大東小中学校	「自分でつくろう！めざせピカピカ和食マスター」	18名
島尻	7月30日(火)	高嶺中学校	自分でつくる！県産食材を使った夏バテ予防料理	21名
特別支援	10月18日(金)	大平特別支援	「学校給食を通して健康な食生活を身につけよう」	11名
宮古	1月11日(土)	多良間小学校	親子で楽しくお弁当を作ろう～学校給食メニューを活用して～	27名
八重山	9月27日(金)	伊原間中学校	～自立した力を身につけるための調理実習～「お弁当を作ろう」	19名

令和元年度事業報告

イ. 食育推進のための教材等の貸出事業

○本年度の教材等の貸出回数は、フードモデル 17 回、琉球漆器 15 回、バイキング食器 5 回、ランチ皿 3 回、その他食器 7 回、指導用教材 4 回であった。

○本県独自の食文化を子どもたちに伝えることで、地域への関心を高め、生命を育む自然への畏敬の念や郷土を愛する心を養うことを趣旨に 2020 年食育カレンダーを沖縄県学校栄養士会と共同で作成。学校給食関係者等へ 2,000 部配布した。

ウ. 地産地消の推進

○県産米は、本会年間玄米使用量 1,741 t のうち約 5%にあたる 100 t を J A 沖縄から購入し、県内児童生徒へ供給した。

○牛乳は年間で 29,944,644 本を供給。県産生乳 100%を供給予定であったが、生乳不足により、全体の約 4.5%にあたる 1,349,158 本が県外産生乳となった。県外産生乳の供給は沖縄本島内で 4 月～令和 2 年 2 月のうちの計 19 日、宮古地区では年間をとおして行われた。10 月に計 2 日、全体の 0.5%あたる 157,575 個加工乳を供給した。

○その他に、J A 沖縄を通じて中国九州地区 12 県の学校給食会にパイン・黒糖を供給し、その内パイン 15,541 k g、黒糖 7,919 k g を県内の学校給食へ供給した。また、西表産黒米を使用した黒米粉パン、県産黒糖を使用した黒糖パン、県産紅芋を使用した紅芋パン、県産モズク、パパイヤ等県産素材を使用して県内加工メーカーで商品化した約 40 品目（年間 311,309 k g、金額 153,944 千円）を県内児童生徒へ供給した。